報告資料３

報告事項３　飛騨市内バス運転手調査の結果について

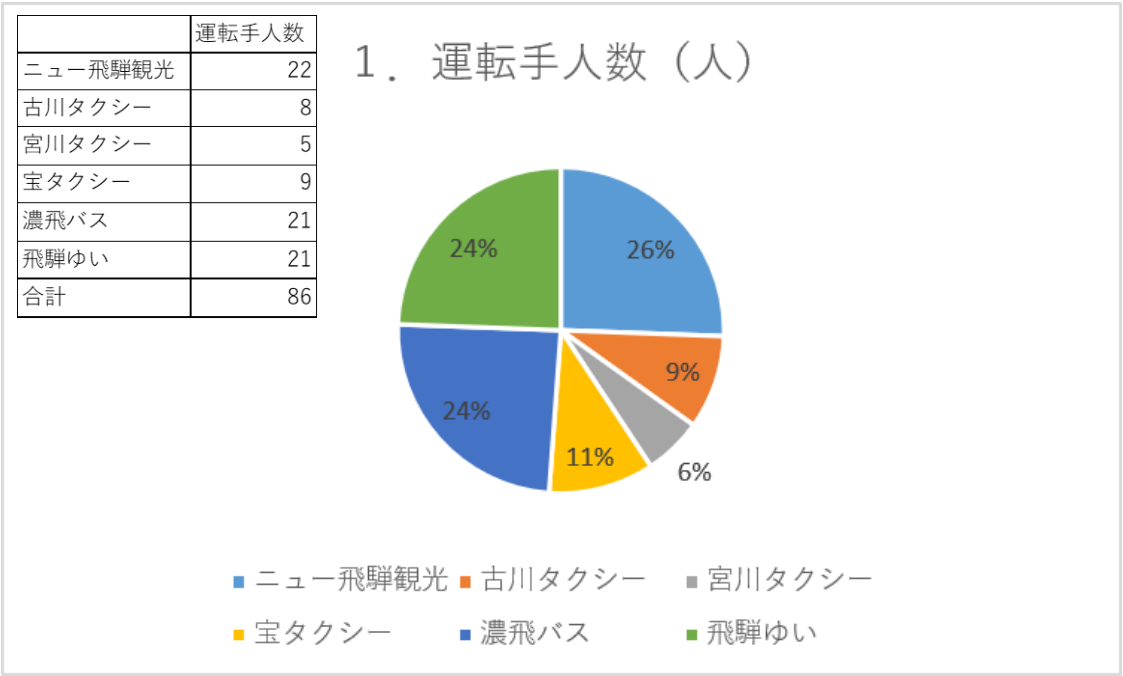
１．報告事項の概要

内容	飛騨市内バス運転手調査の結果について
概要	市内の営業所に所属している運転手のみを対象とした調査の結果について報告する。

２．調査報告

調査対象	市内交通事業者６社 ・濃飛乗合自動車株式会社 ・ニュー飛騨観光バス株式会社 ・古川タクシー株式会社 ・宮川タクシー株式会社 ・株式会社宝タクシー ・株式会社飛騨ゆい（市営バス運行受託事業者）
基準日	令和８年６月１日時点
調査結果	１．運転手の人数

	運転手人数
ニュー飛騨観光	22
古川タクシー	8
宮川タクシー	5
宝タクシー	9
濃飛バス	21
飛騨ゆい	21
合計	86



報告資料３

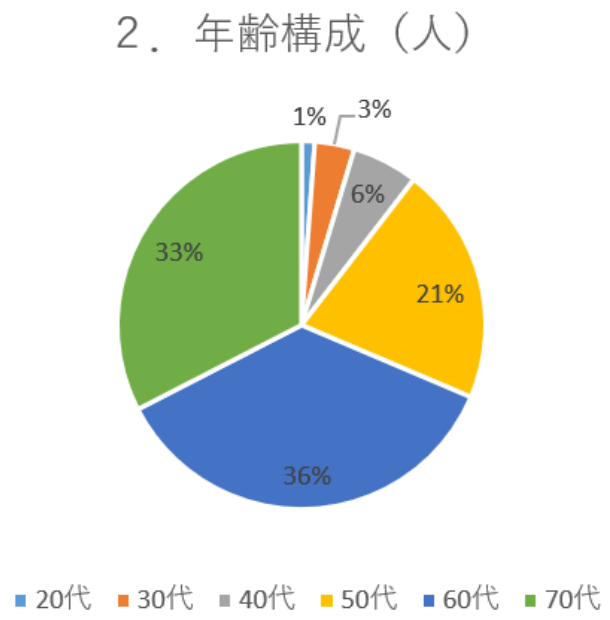
２．年齢構成

・全 86 人中、**60 代以上が 59 人（68.60%）**を占める。

・働き盛り世代である 30 代～50 代が 26 人（30.23%）と少ない。

・**20 代の運転手が 1 人**しかいない。

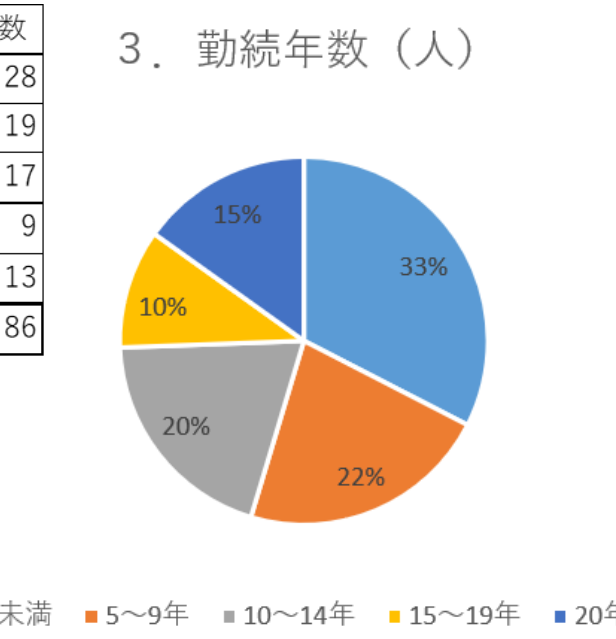
	年齢構成
20代	1
30代	3
40代	5
50代	18
60代	31
70代	28
合計	86



３．勤続年数

・**勤続年数 10 年未満の者が 47 人（54.65%）**と、半数以上を占める。

	勤続年数
5年未満	28
5～9年	19
10～14年	17
15～19年	9
20年以上	13
合計	86



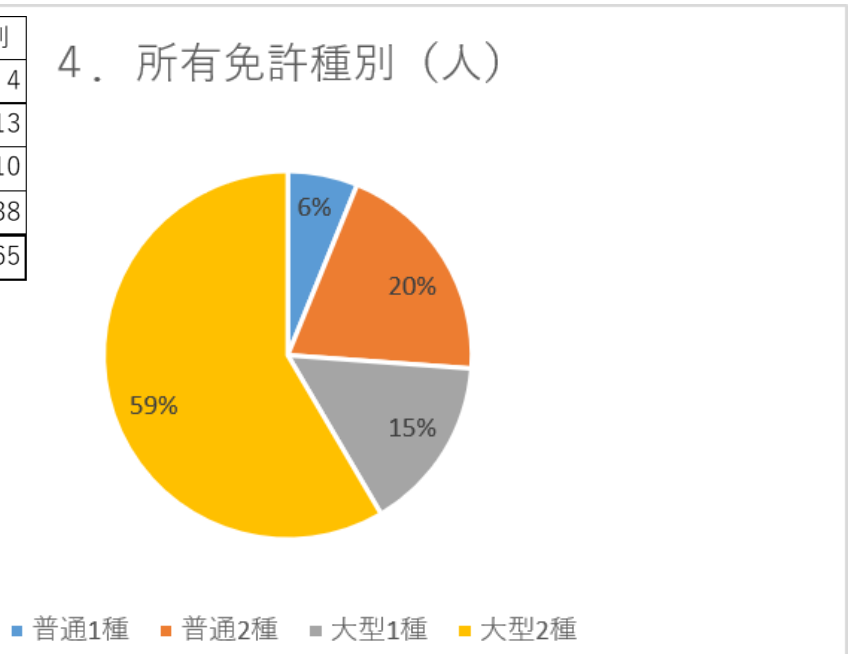
報告資料３

４．所有免許種別（㈱飛騨ゆい除く）

・全体で２種免許所有者は **51 人（78.46%）** となっている。

・普通免許に限れば 76.47%、大型免許に限れば 79.17%となっている。

	所有免許種別
普通1種	4
普通2種	13
大型1種	10
大型2種	38
合計	65

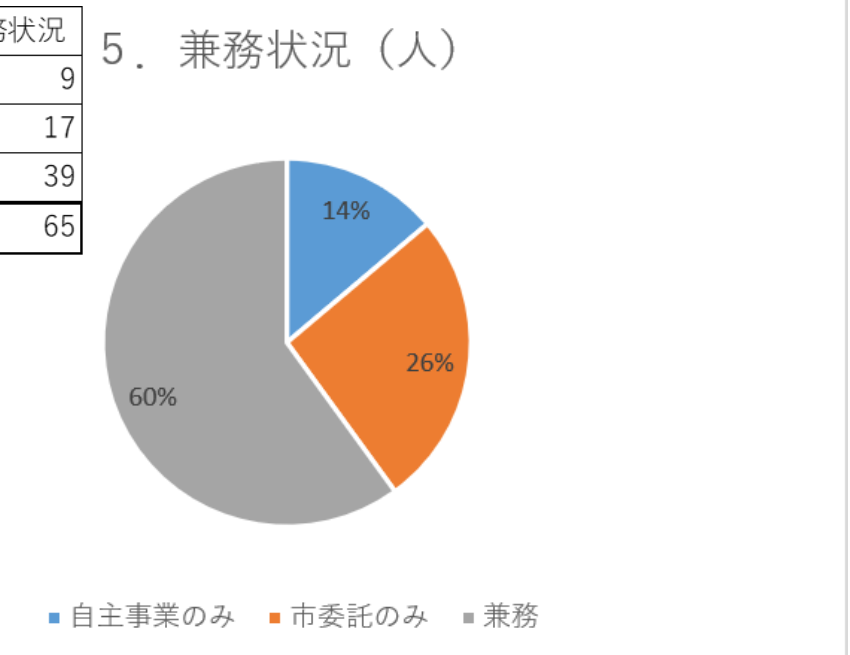


５．兼務の状況（㈱飛騨ゆい除く）

・兼務を行っている者が**６割**を占め、各事業者で人員を流動的に稼働させている。

・残り４割の活用が課題。

	兼務状況
自主事業のみ	9
市委託のみ	17
兼務	39
合計	65



報告資料３

課題	①運転手の高齢化 ・全国的な報道の中で高齢運転手による交通事故が注目されており、高齢の運転手に運行を任せることのリスクが危険視されている。 ・しかし、運転手自体が不足しており、**高齢ドライバーの協力を得ないと輸送サービスが維持できない**状況にある。 ・70 代の運転手は５年後には退職している、60 代の運転手は 10 年後には退職している、と想定すると、**2035 年には約７割が減少**する。 ②運転手不足 ・各事業者の協力の下、運転手の全数調査を行ったことで、人手不足の実態が明確になった。 ・運転手の**２種免許取得率が７割**に留まっており、２種免許取得補助金の活用が進んでいない。 ・兼務の状況から、各事業所において人員の配置等を工夫されているが、相互の**運転手の役割が固定化されている**部分がある。
対策案	国土交通省の「交通空白」解消リ・デザイン全面展開プロジェクトのうち、**「共同化・協業化促進タイプ」**の活用を検討する。 【事業概要】 複数の地方公共団体や交通事業者、施設等への運送サービス提供者による地域旅客運送サービスの共同化・協業化を推進し、**共同での路線バス・乗合タクシー・公共ライドシェア等の運送に係る体制の構築や運行を支援**する事業 【補助率】 **1,000 万円まで定額**、それを超える場合は２／３補助（上限１億 2,000 万円） 【対象経費】 ①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会開催に要する経費等 ②輸送資源の共同化の体制構築に係る経費（有識者招聘を含む） ③共同して使用する輸送施設や配車アプリ・運行管理等のシステムの開発・導入 ④サービス提供に際し実施する広報や、運転者募集・研修等に要する経費 ⑤輸送資源を共同活用するサービス提供に要する経費 【補助事業活用のねらい】 ・他業種と連携することで、公共交通および旅客運送事業の需要拡大につながる。 ・連携組織を立ち上げることで、各事業者の業務を集約化できる。 ・運転手の募集や講習会を独自に行うことができれば、人材を確保しやすくなる。